2022-2023 年度　　令和５年４月３日発行

丸岡ロータリークラブ会報

RI2650地区 スローガン　「感動、感激、そして感謝」

丸岡ロータリークラブ　スローガン
「ロータリーを楽しみ、つながりを深めよう」

３月２７日外部卓話「事業承継は地域を助ける」
福井商工会議所執行理事　事業承継・再生支援部長　小林 悟志 氏

本日の例会

令和５年４月　３日（月）第 2103 回例会

19：00　開会点鐘

君が代・ﾛｰﾀﾘｰｿﾝｸﾞ　「四つのテスト」　斉唱
会長挨拶　松井　寛　会長
祝　　事　４月　会員誕生日　結婚記念日
夫人誕生日
幹事報告　竹澤 俊彦 幹事
委員会報告
① ロータリー情報委員会
「これだけは知っておきたいﾛｰﾀﾘｰの基礎」
ｐ59　例会出席の意義
本日の担当者：海道 佳秀 会員
② 例会出席報告
③ ニコニコ箱　ﾛｰﾀﾘｰ財団　本日の寄付報告

19：30　４５周年記念行事
「部門毎内容説明」各部門委員長

20：00　閉会点鐘

20：00　臨時総会

次回の例会

令和５年４月１０日（月）振替休会

令和５年４月１７日（月）第 2104 回例会
外部卓話「The Rotary Leadership Institute (RLI)について」
地区 RLI 委員会　委員　高須 正実 氏（三国ＲＣ）

４月９日　地区大会　ウカルちゃんアリーナにて
ホスト：近江八幡ＲＣ

今後の予定

令和５年４月２４日（月）第 2105 回例会
ロータリーの友（４月号）解説
解説担当：ロータリー情報委員会

幹事報告

≪ガバナー事務所より連絡≫
なし

ビジター受付のみ実施日　　詳しくは　https://rid2650-pub.com/

県下ロータリークラブ全て、ビジター受付はありません。

松井　寛 会長挨拶　　３月２７日（月）

皆さん、こんばんは。

３月１９日朝日新聞デジタル版に掲載された記事についてお話します。

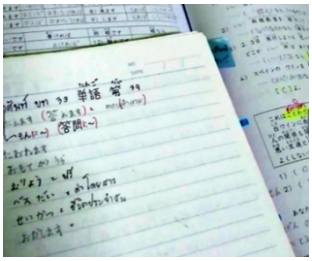
「家族３人で卵一つを分け合った　日本語と出会い、少女に芽生えたもの」

小さい頃から、看護師になるのが夢だった。母と弟と３人で暮らしていた部屋の窓から、大きな病院が見えたからだ。訪れる患者たちを見て、「この人たちを助けたい」と思った。高校３年生のウボンワン・クリーディーさん（18）（ニックネームはギンちゃん）は、タイの首都バンコクの中心部に近い、クロントイ地区のスラムで生まれ育った。幼いころに父を亡くし、母と２歳下の弟と３人で、この街の古い小さなアパートで暮らした。大きな病院はすぐ近くにあり、よく見上げながら遊んだ。母は洗車会社で清掃員として働き、１人で家計を支えた。体調が悪くても仕事に出かける背中を、今でも覚えている。しかし数年がたった頃、肺を患い働けなくなった。職場で吸い続けた排ガスが原因だった。収入は途絶え食べることもままならない生活。家族３人で一つの卵を分け合った日もあった。空腹で好きだった勉強もうまくできなくなった。

13歳のとき、母が近くの財団に「子どもを救ってほしい」と駆け込んだ。スラムの子どもを支援するドゥアン・プラティープ財団だった。財団の支援で、西部カンチャナブリ県にある中高一貫の学校に入った。バンコクから西へ約 120 キロのミャンマー国境沿いにある、自然豊かな県だ。ここには、貧しさから売春や麻薬といった非行に手を染めた少女らを無償で受け入れ、職業訓練などを通じて自立を助ける施設がある。そこで共同生活をしながら、学校に通った。　ただ、施設には女性しか入れない。弟は 300 キロ以上も離れた北東部の学校に行くことになった。

母は故郷で療養生活に入った。家族３人、離ればなれになった。でも、これで飢えに悩まされることはない。苦しかった日々を思い出すと、勉強できることが心から楽しかった。母の言葉を胸に。

高校１年生になったころ、日本語と出会った。語学が堪能な財団の職員が移動してきたことが、きっかけだった。それまで縁はなく、なじみのない文字、覚えるのは難しかったが、新鮮だった。「日本語を覚えて、日本で働いて、お母さんと弟を養って上げたい」いつかそんな思いを抱くようになった。でも、渡航費や日本での生活費を考えると、ただの憧れでしかなかった。



そんな時コロナ禍の波が襲った。高１になって２カ月で、学校は休校となった。部屋から出られない日が続いた。それでも鉛筆を持つ手はやめなかった。電話で話した母の言葉が胸にあったからだ。「私の命はいつ終わるかわからない」。毎日、独学で勉強をやり続けた。テキストは施設にあった「みんなの日本語」。わからない単語が出てきたら黄色いマーカーを引き、ノートに書き写した。ひらがなやカタカナ、その横にタイ語で意味を書き添えていく。隙間なく書いて、ページはほとんど埋まっていた。少しずつ増えていく漢字を見て、レベルアップが実感できた。

この地域は５月ごろから半年近くは雨季だ。雨が強まるたびに停電が起きた。それでも月明かりを頼りに教科書を開いた。１年が経ち、学校が再開したころ「技能実習生」として日本の介護施設で働く制度を知った。介護も看護も同じ、人を助ける仕事だ。自然と関心を持った。渡航費や、日本での研修費の支援も受けられるという。「技能実習生」として日本に行く。そう決めた。

１日５時間の勉強に加えて、介護研修を始めた。週末を利用して、財団の職員に付き添ってもらい、高齢者施設や寝たきりの高齢者らの自宅を回った。食事の手伝いや、歩行のサポート、車いす移動の補助、トイレ介助・・・・。楽ではなかったが、おじいちゃんおばあちゃんと交流するたびに、心がほっとするような感じがした。

このころには、ノートにさらに難しい漢字が並ぶようになった。技能実習生として日本に入国する際には、日本語能力試験の「N4」級が必要とされる。　日常生活でよく使う語彙（ごい）を使った文章や、ややゆっくりとした日常会話ができるとされるレベルだ。昨年末、受験した。通知結果には、「合格」の文字があった。ほぼ独学で２年あまり、テキストは５冊を終えていた。

５月から福井県内の介護施設で働く。３年間の実習を終えたら、日本で看護の勉強もしてみたい。日本語の会話、もっともっと上達したい。「介護の仕事は大変だと思う。でも、笑顔を見るとうれしくなる。人の役に立ちたい、笑顔が見たい。そんな思いで頑張りたいです。」　そしていつか自分の収入で家を買って、また家族３人で。小さなころ見上げた病院の記憶は、今も鮮やかなまま、背中を押してくれている。

丸岡ロータリークラブが長年タイの貧しい子供たちを支援しし続けたことで、子供たちが丸岡で仕事をすることとなりました。丸岡ロータリークラブの一員であることに誇りに感じました。本日は以上です。

（タイの様子の写真４枚は朝日新聞デジタル版より）

「事業承継は地域を助ける」　福井商工会議所執行理事
事業承継・再生支援部長　小林 悟志 氏

事業承継は、マスコミなどで盛んに広報しています。新聞に掲載されたシライハウスさんなど他にも色々ありますが、引継ぎは、霞ヶ関の用語で、「M＆A」のことです。日本M＆Aセンターや M＆Aキャピタル＆パートナーズなどコマーシャルしてるような起業から「あなたの会社を買いたいと思っているというところがありますよ」もしくは、「あなたの会社を売りませんか」のようなDMが来たり電話が来たりします。しかし、福井は実はとても遅れています。それは、親族中心だからです。

このような状況の中で、福井県事業承継引継ぎ支援センターは、経済産業省中小企業庁から委託を受けて、福井商工会議所が行っています。

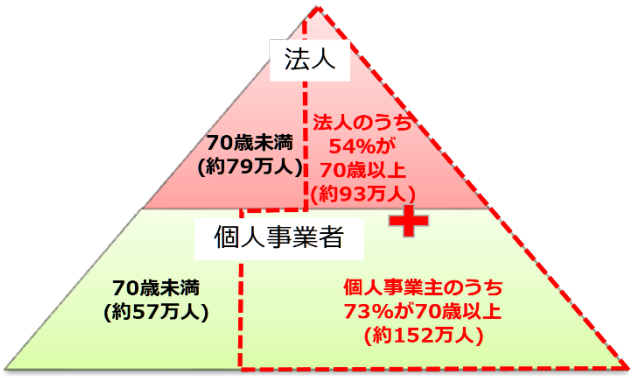
福井が空白地帯だとういうことで、先だっても大手商社の丸紅さんが、電子部品のハーネスを作る部門が特に北陸方面に弱いということで、事業承継・引継ぎ支援センターが全国に 47 箇所東京２つあるので 48 箇所を利用して地元の後継者が不在で困ってる会社を引継ぎ（ M＆A） したいという事例があります。M＆Aというと「ハゲタカ」とか「ファンド」とかいう悪いというイメージがあり、乗っ取り、買収、安く売られるという思いもあるかと思います。商工会議所では、商工業者さんが減少すると、死活問題になり、また地域が発展しなくなるということから、この「事業承継」を進めていっています。

＜事業承継／事業引継ぎに対する「霞ヶ関」の考え方＞

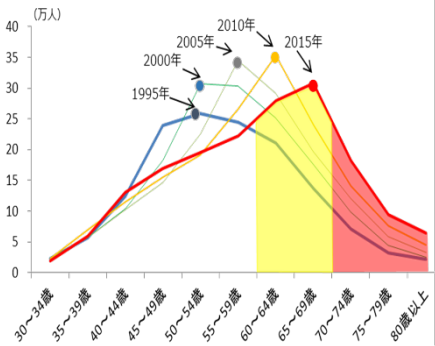
・10 年間で 60 万者（6 万者/年×10 年）の第三者承継の実現を目指す。
・技術・雇用等の中小企業の経営資源を、次世代の意欲ある経営者に承継・集約。

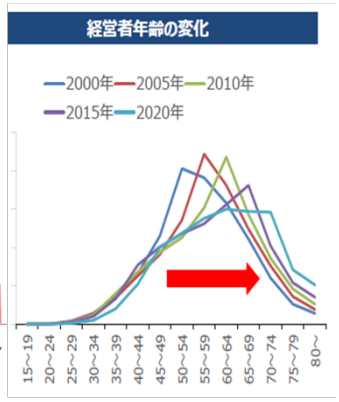
＜事業承継現状＞

中小企業・小規模事業者の経営者の2025年における年齢



中小企業の経営者年齢の分布(法人)

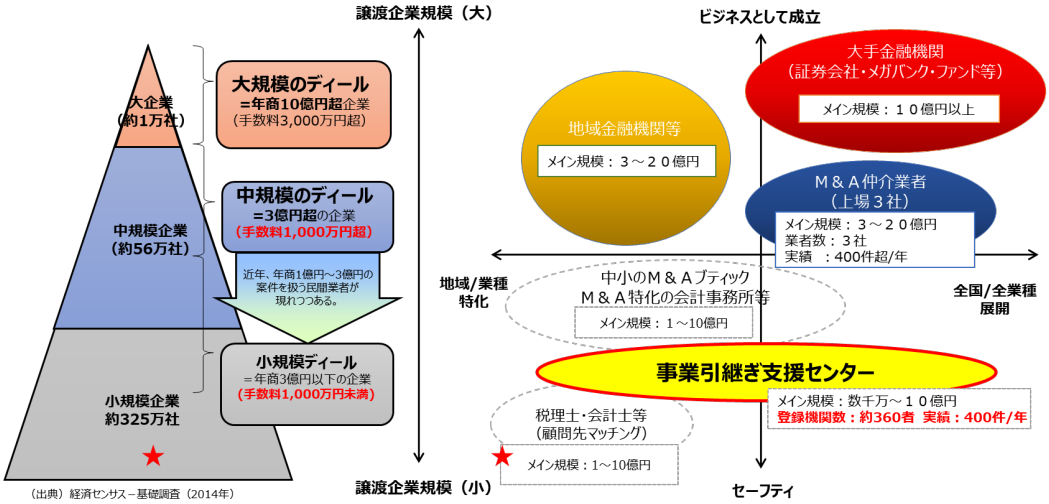




問題点　・今後 10 年の間に、中小企業者の経営者の約 245 万人（社）が 70 歳を超え、そのうち 127 万人（社）が後継者未定。　・中小企業の約 6 割は後継者が決まっていない。　・2025 年までに、約 650 万人の雇用、約 22 兆円のＧＤＰが失われる可能性があり、日本経済の待ったなしの課題。

＜事業引継ぎ（M＆A）の立場から見た実態＞

○M＆A（第三者承継）の担い手として、地域金融機関、民間M＆A仲介業者等が増えつつあるが、一定規模以上のM＆Aに対する取組が中心となっている。
○小規模なM＆Aの担い手は少なく、事業引継ぎ支援センターが大きなプレゼンスを占めている。



＜福井県における状況＞

①代表者の年齢：60 歳以上の経営者割合が約 6 割と高齢化が進展している。

②６０歳以上の後継者決定状況：60 歳以上経営者の 4 割以上が「事業継続」に課題を持っている

③「後継者は決まっている」企業の後継者との関係：子息・子女が 85.9%親族内で 93.1%　親族以外は 6.9%

④「廃業を検討している」企業の経営状況：経営状況は「黒字」でも事業承継がうまくいかないという理由で廃業を検討している企業がある

福井新聞
11/16

福井・片町

ジャズバー"聖地"承継

白井さんから弟子畑さんへ

生演奏こだわり今後も

福井市の繁華街、通称片町にあるジャズバー「JAZZ BAR SHIRAI HOUSE」のオーナーが、このほど、サックス奏者の白井淳夫さん（71）から、日頃から店の演奏に参加していたジャズギターリストの畑春美さん（52）に代わった。白井さんが店を始めて35年、新型コロナウイルスの影響で飲食店が大きな打撃を受ける中、生演奏を続ける福井のジャズの「聖地」が個性豊かな弟子に受け継がれた。（谷口有美子）

白井さん（左）からジャズバーを引き継いだ畑さん＝福井市順化2丁目の「JAZZ BAR SHIRAI HOUSE」

令和4年度成約案件分析【概要】

(1)成約件数		35件	(昨対) 97.2%
(2)相談形態	売り相談先行	24件	68.6%
	買い相談先行	11件	31.4%
(3)関与期間（成約までの期間）	平均	305.0日	＝約１年
	中央値	150.0日	
	最短	19日	
	最長	1,244日	＝約3.5年
(4) 福井県M&A奨励金利用		20件	57.1%
(5)対応スキーム	二次対応	3件	8.5%
	三次対応	32件	91.4%
(6)引継ぎ形態	株式譲渡	6件	17.1%
	事業譲渡	23件	65.8%
	経営資源譲渡会社分割他	6件	17.1%
(7)成約金額	平均額	17,210,636	
	中央値	1,834,766	
	最小額	0	
	最高額	非公開	

委員会報告　　３月２７日（月）

◆ロータリー財団◆　　寄付者　　１３名

林田千之　下田　金　林田恒正　東角　水﨑　松井　竹澤
岩田　海道　竹吉　南勝文　戸﨑

◆米山奨学会◆　　寄付者　　１２名

林田千之　下田　金　林田恒正　水﨑　松井　竹澤
岩田　海道　竹吉　南勝文　戸﨑

◆ニコニコ箱◆　　寄付者　　１７名

松井会長　小林部長様　本日の卓話西出委員長よろしくお願いします。よき先輩楽しみにしています。
竹澤幹事　小林様　本日の卓話よろしくお願いします。
林田千之　ロータリークラブは出席が第一です。出席表のシールは自分の手で！
下田　小林悟志様　卓話ありがとうございます。
金　新型コロナ感染症の８波はようやく終息しそうですが、第９波が来ないという証拠も理由もありません。用心していきましょう。
林田恒正　小林様卓話ありがとうございます。
山下　桜満開が近く、西側から見るお天守も綺麗です。来週から幟旗の花が満開になりそうです。
水﨑　丸岡城の桜きれいですね。
三寺　今日もロータリーに来れて幸せです。
前川徹　二女が大学を卒業して福井に帰って来ました。家族が増えてにぎやかです。
西出　小林様　卓話楽しみです。宜しくお願いします。

◆出席報告◆　　出席委員会

例会日	会員数	出　席	届有欠	届無欠	出席免除者欠席	例会出席率
3/20	２９	１７	１１	０	１	60.71%

◆寄付金の状況◆ニコニコ箱委員会　ロータリー基金委員会

	3 月 27 日	累計	会費含む累計
ニコニコ箱	22,000 円	600,000 円	1,470,000 円
ロータリー財団	15,000 円	516,000 円	
米山記念奨学会	15,000 円	513,000 円	

3/27　ロータリー情報委員会
「知っておきたいロータリーの基礎」
ｐ56　出席
解説担当：前川　正智　会員

岩田　本日も宜しくお願い致します。
前川正智　本日もよろしくお願いします。
海道　いつもありがとうございます。
竹吉　小林悟志様　本日の卓話よろしくお願いいたします。
南勝文　本日も皆様御苦労様です。
多田　本日もよろしくお願いします。

丸岡ロータリークラブ
会員数：２９名　**例会場**：丸岡城のまちコミュニティセンター　**例会日**：毎週月曜日 19 時 00 分
事務局：〒910-0251　福井県坂井市丸岡町一本田福所 22-24-3　東角建設(株)　２F
（月）14 時から 18 時（火～金）13 時～17 時
TEL 0776-67-0410 FAX 0776-67－4811　E-mail webmaster@maruoka-rotary.com
公共イメージ委員会 理事－杉本政昭　**会報委員会**　委員長－杉本政昭　副委員長－前川　徹
委　員－下田重道